

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意…取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物損の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

■施工上のお願い

- 屋根にはしごをかけたり、のったりしないでください。傷・変形の原因になります。
 - 組み立てた製品を運搬する際、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
 - 組立て後の重量は最大95kg(屋根を含めると110kg)になります。施工は、対応する人数で行ってください。
 - テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠け等の原因になります。
 - テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
 - 断熱材はぬれると製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 取付け後養生しておくか、テーブル板取付け時まで保管しておいてください。

▲注意

- 下記項目は、漏水の原因になるおそれがありますのでご注意ください。
 - 躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ(別売り)を張ってください。
 - 外壁施工後、躯体と出窓の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。
 - 屋根は必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
 - 外壁は44mm以下に仕上げてください。
 - 出窓下部に造り付け収納部を作らないでください。
- 下記項目は、出窓の前倒れにより障子が脱落する原因になりますのでご注意ください。
 - 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
 - 窓台は、45mm厚以上のものを使ってください。
 - 窓台と間柱は、間柱補強板で補強してください。
 - 下枠補強材と開口部との間に透き間のないよう固定してください。
 - 屋根は必ず奥まで差し込んでください。

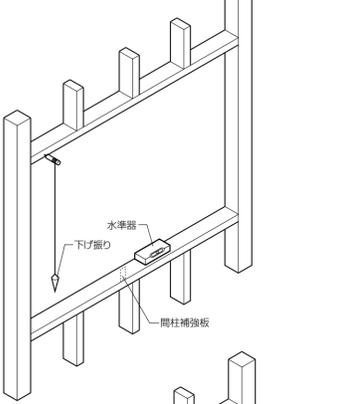
■取付け部品一覧表

※下表の番号は本文図中の番号を示します。間違いないよう使用してください。

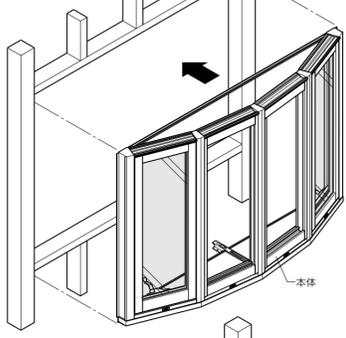
番号	①	②	③	④
名称	φ3.5×32皿木ねじ	φ4.1×63丸木ねじ	φ4×30ナベタッピンねじ	φ2.4×38スクリュー釘
使用箇所	縦枠(室外側)・躯体	補強ブラケット・躯体	水切り・躯体 補強ブラケット・躯体	屋根・躯体
袋表示	取付用1			
番号	⑤	⑥	⑦	⑧
名称	φ3.1×20皿木ねじ	φ3.1×20皿木ねじ	間柱補強板セット	間柱補強板セット
使用箇所	上枠・屋根 天板見切り縁・屋根	縦枠(室内側)・額縁 天板見切り縁・額縁 下枠・テーブル板	窓台・間柱	
袋表示	取付用2		取付用3	

■取付け順序

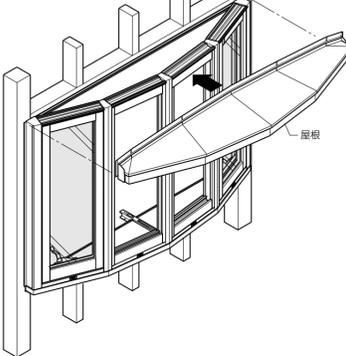
1 開口部の確認



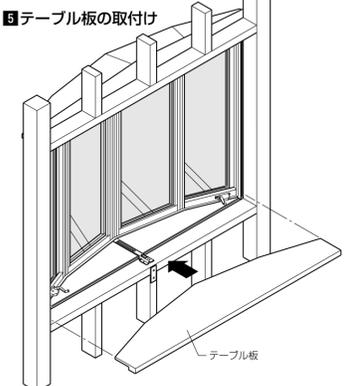
2 本体の取付け



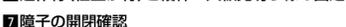
3 屋根の取付け



4 FIXガラスの建込み



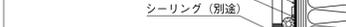
5 テーブル板の取付け



6 造作材(仕上げ材)と縦枠・天板見切り縁の固定

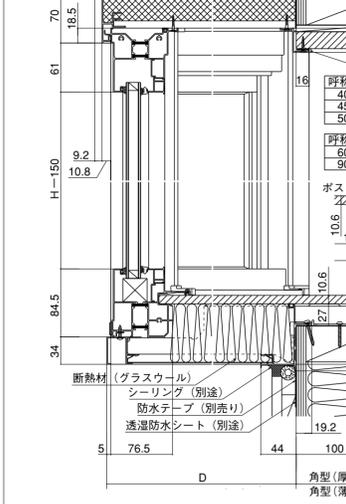


7 障子の開閉確認



■参考納まり図

●縦断面図(FIX部)

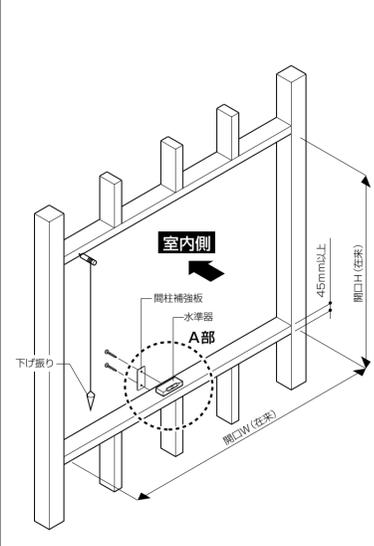


■取付け詳細

※図中の番号は、取付け部品一覧表の番号を示します。間違いないよう使用してください。

1 開口部の確認

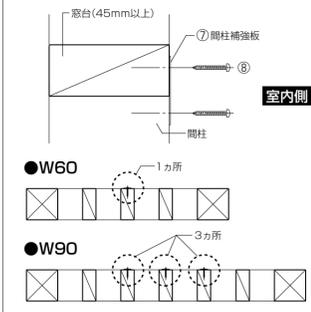
- 窓台は厚さ45mm以上にしてください。
- 水平・垂直を正しく出します。
- 間柱補強板を間柱と窓台(室内側)へ取り付けます。(A部詳細図)
- 内装材を直張りする場合は、窓台・間柱を掘り込んで間柱補強板を取り付けてください。



▲注意

- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 窓台は45mm厚以上のものを使ってください。
- 窓台と間柱は、間柱補強板で補強してください。

■A部詳細図



2 本体・屋根の取付け

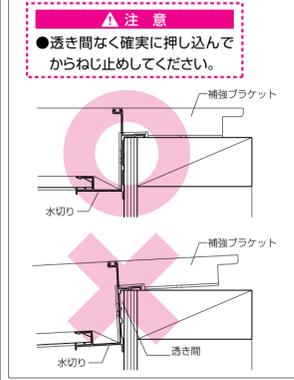
- 本体を開口部に差し込み、補強ブラケット・水切り・縦枠(室外側)の順で躯体に固定します。
- 屋根を本体に差し込み、躯体に固定します。

▲注意

- 屋根は必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。

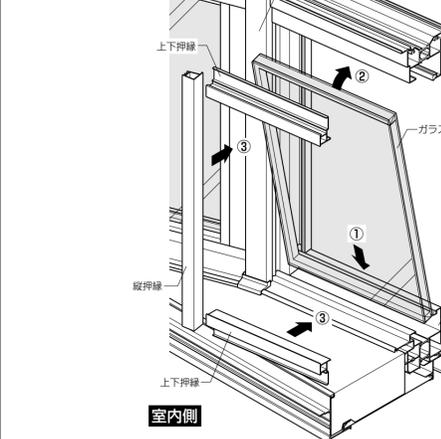
- 上枠と屋根を固定します。
- 天板見切り縁と屋根を固定します。

■B部詳細図



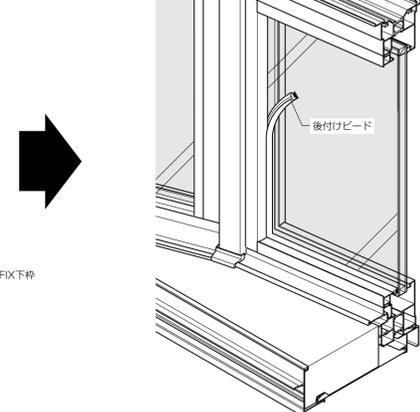
1 FIXガラスの建込み

- FIX下枠→FIX上枠の順に、ガラスを室内側からはめ込みます。



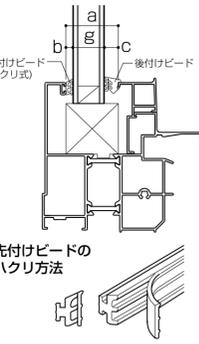
2 縦→上下の順に押線

- を入れた後、4方に後付けビード(別売り)を回します。



■FIX部ガラスビードの使用区分

※ビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度で切断して上下押線・縦押線の4方に入れ、押線とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。

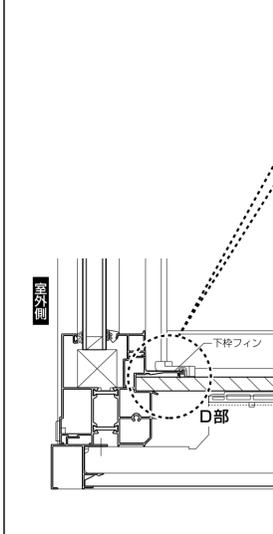


●PG(複層ガラス) a=30

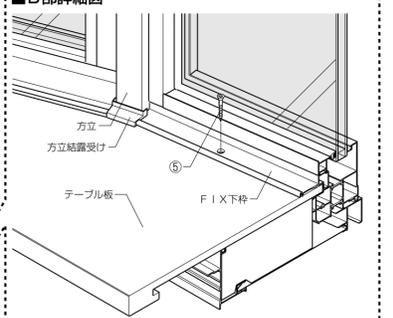
ガラス厚g(mm)	ガラス構成	先付けビード(a)	後付けビード(b)	後付けビード20mm商品コード
18	3-12-3	4	8	ECZB 11 ECZW 11
19	3-12-4	4	7	ECZB 32 ECZW 32
20	3-12-5 4-12-4	4	6	ECZB 33 ECZW 33
21	4-12-5 (ハクリ)	3	6	ECZB 33 ECZW 33
22	3-12-6.8 5-12-5	4	4	ECZB 35 ECZW 35
23	4-12-6.8	4	3	ECZB 36 ECZW 36
24	5-12-6.8 (ハクリ)	3	3	ECZB 36 ECZW 36

5 テーブル板の取付け

- 下枠フィン・補強ブラケットに、テーブル板の両端を上から押さえながら差し込んでねじ止めします。

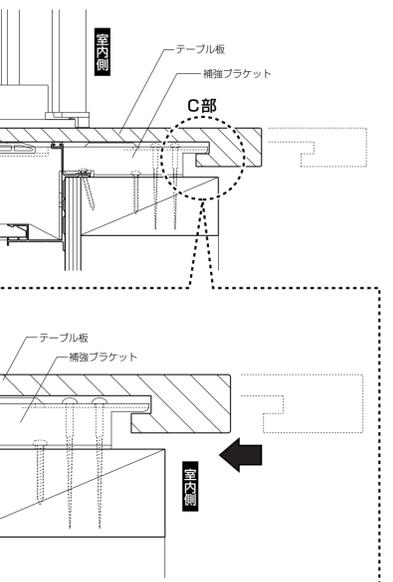


■C部詳細図



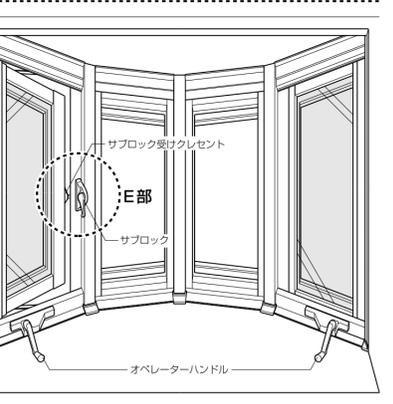
■C部詳細図

- テーブル板は補強ブラケットに確実に引っ掛けてください。



7 障子の開閉確認

- オペレーターハンドルを回して障子がスムーズに開閉するかどうか確認します。
 - サブロックが障子縦枠のサブロック受けクレセントに引っかかるかどうか確認します。
- ※引っかからない場合は、下記の要領で調整してください。
- (上下前後方向)
- サブロックのねじをゆるめて調整します。
- (障子見込み方向)
- サブロック受けクレセントのねじをゆるめて調整します。



■E部詳細図

